

TAKAMATSU
MUNICIPAL
HOSPITAL



2024

高松市立みんなの病院

卒後臨床研修プログラム





目次 Contents

1. 基本方針・研修理念	1
2. 院長挨拶	2
3. 臨床教育センターより	3
4. 病院概要	4
5. 専門医制度による施設認定一覧	5
6. 高松市立みんなの病院基幹型臨床研修プログラムについて	6
7. 臨床研修応募申込書	9
8. 病院見学依頼書	10
9. 募集要項／研修医の処遇	11

「高松市立みんなの病院」の概要

高松市は、地方自治体として「高松市立みんなの病院」「高松市民病院塩江分院」の2つの公立病院を開設運営しています。両院は常に連携を取り、高松市南部地域を中心とした地域医療を担っています。

高松市立病院の基本理念である「生きる力を応援します」のもと、高松市民の健康保持と多様化する医療需要に応えるとともに、地域の中核病院としての使命を果たすため、高度・特殊医療を中心に住民医療福祉の増進に努めています。

診療科

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科*、外科、呼吸器外科、脳神経外科、脳血管外科*、整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、救急科、臨床検査科、病理診断科（26診療科）

*令和5年8月から標榜予定

病床数

305床（一般病床299床 うち地域包括ケア病棟48床、感染症病床6床）



高松市立病院基本理念 生きる力を応援します

基本方針

- 「リーディングホスピタル」として、高松市医療全体の最適化を目指します。
- 「理想的な医療」をファインチームワークで提供します。
- 「まごころのある医療人」を全力で育成します。
- 「地域とのつながり」を大切にし、みんなの暮らしを支えます。

研修理念

医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、診療能力を獲得するため、医療人として必要な基本姿勢を養成する。

将来の専門性にかかわらず、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につける。



院長挨拶



当院は、都市制度において中核市となる高松市立の医療機関です。平成30年9月に高松市民病院から高松市立みんなの病院と改称し、同市南部に位置する仏生山町（ぶっしょうざんちょう）に新築移転しました。仏生山は松平家藩主の菩提寺である法然寺の門前町として発展し、昔の佇まいを数多く残している一方で、旧家屋をリノベーションしたカフェや雑貨店、モダンな温泉施設がある新旧のバランスが大変魅力的なところ です。

当院はことடன்仏生山駅に近いことから市中心部への交通アクセスも良く、PET-CTやダヴィンチなど医療設備・機器も充実しており、快適かつ満足度の高い研修環境を提供できるものと確信しています。プライマリ・ケアを含む急性期医療、地域医療から高度専門医療までレンジの広い疾患群を扱うことも特色の一つです。このような背景のもと、各専門領域の学会専門医、指導医によるマンツーマン指導を基本とし、研修プログラムの質向上と教育の充実を図っています。さらには卒前～卒後のシームレスな医師研修だけでなく、ジェネラリスト、スペシャリストともに将来目指すべき医師像のキャリア形成へ向けて円滑に接続できるプログラムを構築しています。「Think globally, act locally. Think locally, act globally」果てしなく広がる医学の世界を意識しながら地域で行動する。地域で得られた経験を活かし、これからの医療を変えていく。このような思いで次世代を担う医療人の育成に取り組んでいます。

高松市立みんなの病院長 六車 直樹



高松市立病院学会の様子



医療局会の様子



ダヴィンチ手術の様子

**希望日時、見学期間・内容など
ご希望にお応えいたします!**

お気軽にご連絡下さい。

高松市立みんなの病院事務局 総務課
TEL 087-813-7171(代表) 内線2103
FAX 087-813-7141(代表)
E-mail byoinshomu@city.takamatsu.lg.jp

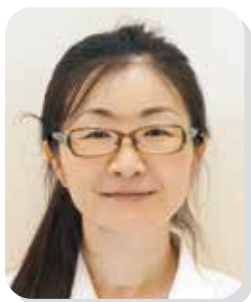
☆P10に病院見学依頼書があります



見学に係る費用について

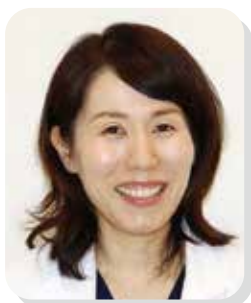
- 一部助成できるようになりました。
- 詳しくは、お問い合わせください。

臨床教育センターより



初期研修病院としての高松市立みんなの病院をおすすめする理由が2つあります。1つ目は患者さんを多くの診療科で連携して診ることができる余裕があることです。当院は病床規模300床台の中核病院であるため、一人一人の患者さんに対して手厚く診療することができています。また診療科同士の垣根が低く、疾患についても気軽に相談でき学べる雰囲気があります。2つ目は当院で働くスタッフです。各診療科の医師同士はもちろんのこと、メディカルスタッフとの連携もしっかりと取れており、患者さんやそのご家族のことを想って対応できる職員が多くいます。このような病院で大切な初期研修を受けることを私自身おすすめします。施設、立地はもちろんのこと、働くスタッフが素晴らしいこの環境で一緒に成長できることを楽しみにしています。

臨床教育センター長 藤井 笑子



研修医になると、今後の期待もありつつ、診察、カルテ記載、検査や処置だけでなく、病状説明や急変時対応と多岐にわたる業務を行うに当たり、不安や緊張もあると思います。医師としての基盤を作る初期研修では悩みながらも成長できる環境が当院にはあります。高松医療圏の中心にあり、救急疾患も多く、プライマリケアから高度専門医療まで幅広く経験することができます。また、診療科の垣根が低いと、疾患について相談しやすい環境であり、一人一人の患者さんを丁寧に診ることができます。また、熱心な上級医の指導のもとに種々の基本手技を経験することが可能であり、研修プログラムに関して個々のニーズに柔軟に対応可能です。そして、診療科だけでなく職種も低いことから、複数の視点から患者さんを診ることができ、多職種と連携する中でコミュニケーション能力を育てることもできます。ぜひ高松市立みんなの病院で一緒に成長していきましょう。

臨床教育センター
副センター長 藤原 美佳



私は、初期研修を大学病院で行い、後期研修を病床規模500床以上の市中病院で行いました。その後は、大学院、市中病院、個人クリニックなど、様々な形態の病院を経験し、今に至ります。その経験を振り返った時に、初期研修で学んだことは、今でも記憶に深く刻まれており、医師としての土台となっています。初期研修は医療の知識だけではなく、“医師のシゴト”とはどのようなものかについて自分自身で考える貴重な機会でもあります。高松市立みんなの病院は、地域に根ざした中核病院としての機能に加え、高度な医療も行う病院でもあり、医師としての視野を広く持ち、経験することができる環境です。また、子育て世代の医師も多く在籍し、ライフワークバランスを保ちながら働ける環境も整っています。先輩医師から指導を受け、しっかりと学び、そしてメリハリをつけてしっかり休み、自分の目指すべき医師像を具体的に見つけてください。共に働けることを楽しみにしています。

臨床教育センター
副センター長 佐藤 悠

病院概要

所在地	〒761-8538 高松市仏生山町甲847番地1 電話 087-813-7171 (代表)	
開設年月日	昭和27年12月23日 (平成30年9月1日新築)	
病院長	六車 直樹	
診療科目 (26科)	内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 脳神経内科※ 精神科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 脳血管外科※ 呼吸器外科 皮膚科 形成外科 泌尿器科 産科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科 病理診断科 臨床検査科 歯科口腔外科 救急科	
施設の概要	敷地面積 54,100㎡ 延床面積 27,300㎡ 駐車場 643台 (来院者、職員駐車場)	
病床数	305床 一般病床299床 (地域包括ケア病棟48床を含む) 感染症病床6床	
職員の状況 ※令和5年5月現在	443人 (医師の数 56人、指導医数 32人)	
患者数 令和4年度実績	1日平均入院患者数	240人
	1日平均外来患者数	403人
機関指定等	保険医療機関 健康保険病院 社会保険病院 船員保険病院 国民健康保険病院 労災保険指定医療機関 生活保護法指定医療機関 地域医療支援病院 臨床研修病院 へき地医療拠点病院 DPC対象病院 救急告示病院 公害医療機関 医療保護施設	
	災害拠点病院 原子爆弾被爆者一般疾病医療取扱医療機関 広域救護病院 労災保険第二次健診等給付病院 第二種感染症指定医療機関 指定自立支援医療機関 (更生医療) 指定自立支援医療機関 (精神通院医療)	



※令和5年8月から標榜予定

機関指定等

身体障害者福祉法指定医配置医療機関
 母体保護法指定医配置医療機関
 精神保健指定医配置医療機関
 指定難病治療指定医療機関
 指定小児慢性特定疾病医療機関
 肝疾患専門医療機関
 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関
 小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関
 特定疾患治療研究事業委託医療機関
 病院機能評価認定施設



専門医制度による施設認定一覧 (令和5年6月現在)

日本内科学会専門研修プログラム研修施設	日本整形外科学会専門医制度研修施設
日本消化器病学会認定施設	日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本肝臓学会認定施設	日本透析医学会専門医制度認定施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設	日本眼科学会専門医制度研修施設
日本呼吸器学会専門医制度認定施設	日本病理学会研修登録施設
日本呼吸器内視鏡学会認定施設	日本臨床細胞学会認定施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設	日本産科婦人科学会専門研修連携施設
日本消化器外科学会専門医修練施設	日本精神神経学会専門医制度研修施設
呼吸器外科専門医合同委員会認定専門研修連携施設 (基幹施設)	日本麻酔科学会認定病院
日本がん治療認定医機構認定研修施設	日本環境感染学会教育施設認定教育施設
日本脳神経外科学会専門研修プログラム連携施設	日本血液学会認定専門研修教育施設
日本アレルギー学会専門医制度教育施設	日本超音波医学会超音波専門医研修施設
日本形成外科学会教育関連施設	日本周産期・新生児医学会専門医制度補完施設
日本循環器学会研修関連施設	放射線科専門医研修施設修練機関

高松市立みんなの病院基幹型臨床研修プログラムについて

【1年目】	内科24W (6W×4科)				救急12W (4W×3)	外科8W	小児科8W
	一般内科 ^{※1}	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	麻酔科 (4W) 含む ^{※2}	一般外来研修含む ^{※1}	一般外来研修含む ^{※1}
高松市立みんなの病院							

【2年目】	地域医療 4W	産婦人科 4W	精神科 8W	選択科目36W
	協力病院 ^{※3}	高松市立 みんなの病院	協力病院 ^{※4}	高松市立みんなの病院又は徳島大学病院 ^{※5}

※1 一般外来については、内科、外科、小児科、地域医療の研修期間中に並行して実施。

※2 麻酔科における研修期間を救急部門の研修期間 (最大4週) とみなす。

※3 協力病院 (沖縄県立八重山病院、高松市民病院塩江分院) での研修が可能です。

※4 精神科については、徳島大学病院 (最大8週) 又は香川県立丸亀病院 (4週) で研修を行います。

※5 到達目標の達成に必要な研修科を選択でき、高松市立みんなの病院又は徳島大学病院から選択することができます。

個々のニーズにあわせて指導医と選択カリキュラムを相談することも可能です。将来を見据えて、自分ならではのカリキュラムを組んで充実した内容で研修を行います。

研修内容

内科

内科は、循環器科、消化器科、呼吸器科、血液内科、一般内科に分けられているが、専門のみではなく、幅広く、全員が総合内科医としての役割も担って診療にあたっている。初期研修は多くの症例から学ぶことが大変重要であり、当院では軽症から重症まで、様々な症例を経験することができるので知識や手技の習得も早くできる。

●内科医として必要な基礎的知識・手技を学ぶ。

Common diseaseを中心に、症例から学ぶことを基本とし、特に病歴・身体所見を重視し、必要な検査を行い、診断するトレーニングを行う。診断に必要な、血液ガス、血液培養、グラム染色、胸水検査、腹水検査、髄液検査、骨髄検査などの手技を習得する。輸液や輸血の管理、抗菌薬や抗癌剤投与の基本を習得する。救急患者の初期対応を学ぶ。その中で、気道確保、CVカテーテル、人工呼吸療法などの手技、管理を習得する。チームとしての医療を経験する。

●希望に応じて習得できる検査

上部・下部内視鏡検査、ERCP、気管支鏡検査
心エコー、運動負荷検査、心臓カテーテル検査
呼吸機能検査、気道過敏性検査、ポリソムノグラフィー (PSG)

救急 (麻酔)

麻酔・救急蘇生に関する知識と手段、循環・呼吸を主とした全身管理の取得。

中心静脈路確保 (外頸・内頸静脈)、術中麻酔管理、ICLS、気道確保 (用手・ラリンジアルマスク・気管挿管)、心マッサージ、除細動器の使用 (AED含む)、脊椎穿刺 (脊椎麻酔)、硬膜外穿刺 (硬膜外麻酔)、人工呼吸管理 (人工呼吸器の使い方)

地域医療

各研修協力施設に指導者を置き、地域保険・医療の現場においての実体験を通し、患者様・施設入所者および家族等に対して全人的な対応や社会における各施設の役割等について理解し、実践できる能力、知識の習得について指導する。

多彩な地域医療研修を

沖縄県立八重山病院 (石垣市) で研修することができます。



外科

将来の志望領域に拘わらず、外科学の基本的な知識と手技を習得する。

臨床研修指導医を中心として内視鏡技術認定医、肝胆膵高度技能医などの各専門領域の外科指導医が実践を通して教育する。研修スケジュールには、回診・カンファレンス・手術への参加が組み込まれ、知識と技術の向上に伴い、より高度な研修を目指す。

基本的な外科の手技（糸結び、創傷処理、切開排膿術）の習得

開腹・開胸術・虫垂炎・ヘルニア等の手術経験 内視鏡下手術の基本操作の習得

輸液栄養管理を含む周術期管理の実際 ターミナルケアを含む患者への接遇 救急医療 医療安全、感染対策の基本

小児科

成長期にある小児の健康上の問題を身体的のみならず、精神的な面、社会的な面からも把握できるようにする。取り扱う患者は一般の急性疾患が主となるが、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、てんかん、心因性疾患等も対象となる。熱性けいれん等の小児救急疾患への対応についても習得する。

また、予防医学的観点から予防接種（相談と実施上の注意点を主に）各種検診活動（発達遅延の早期発見等）が適切にできるようにする。最も頻度が多い急性疾患では、季節毎に流行する疾患の特徴を的確に捉えられるようにし、抗生剤適正使用の概念を理解・実践できるようにし、日常診療上重要となる静脈採血・点滴ルートの確保を確実に実施できるように重点的に習得に努める。

婦人科

- ① 周産期：(1) 正常妊娠、分娩、産褥の管理
(2) 異常妊娠、分娩、産褥の管理
(3) 産科的手術の介助：会陰切開縫合術、吸引分娩、流産手術、子宮頸管縫縮術、帝王切開、子宮外妊娠
(4) 正常・異常新生児
- ② 婦人科：(1) 一般婦人科疾患の診断、治療管理
(2) 婦人科手術疾患の介助…子宮全摘、付属器手術、子宮頸部円錐切除、子宮筋腫摘出術、腹腔鏡下手術、子宮鏡下手術、悪性腫瘍手術
(3) 悪性腫瘍に対する化学療法についての基礎的知識習得
- ③ 生殖医療：(1) 内分泌異常に対する診断、治療
(2) 一般不妊治療
(3) 生殖補助医療（体外受精等）に対する知識、技術の習得



精神科

主に統合失調症、躁鬱の感情障害、認知症について1例ずつ担当し、薬物療法の進め方を習得、その有効性を体験する。患者様への問診の仕方、鑑別判定および治療薬選択について習得する。

当院での初期研修について

当院で初期研修を受けた先輩を紹介します。



僕は徳島大学病院の研修医ですが、初期研修プログラムの協力病院研修（所謂たすきがけ研修）でこの病院にお世話になりました。今回は、研修医の視点から見た臨床研修病院としての高松市立みんなの病院を紹介したいと思います。

初期臨床研修は将来進む診療科にかかわらずプライマリ・ケアの基本的な診療能力を習得することを目的とした制度です。そのため、ローテーションは【内科（24週）】、【救急科（12週）】、【外科（4週）】、【小児科（4週）】、【産婦人科（4週）】、【精神科（4週）】、【地域医療（4週）】の7科目が必修科に定められていますが、精神科以外については当院で研修できます。また、臨床研修の到達目標として『経験すべき症候/疾病・病態（【発熱】、【めまい】、【心不全】、【COPD】など）』や『基本的臨床手技（【皮膚縫合】、【気管切開】など）』が定められていますが、当院では急性期医療から高度専門医療まで扱っており、幅広い症例を経験できるため困ることはありませんでした。また特定の症例が不足している時や勉強になる症例があった時などは、ローテーション科以外の科の先生からも声をかけてもらって診療や手技に参加させてもらうこともありました。

当直（宿直）については特に定められたものはないため、ローテーション科の先生と相談しつつ自分で決めていました。僕の場合は、整形外科志望だったため整形外科の先生の当直に月4回程度一緒に入らせてもらっていました。研修医一人で対応させられることはなく上級医も一緒に診る形でしたが、慣れてくるにつれて救急隊からの引き継ぎや診察、検査オーダーなどを任せてもらえました。

学会参加や研修会・講習会の費用も（回数制限はありますが）参加費と旅費を病院側が負担してくれます。僕も整形外科の先生に大阪で開催された学会に連れて行ってもらった他、愛媛で開催されたJATECコース（外傷初期診療の講習会）にも参加し、参加費と旅費を支給してもらえました。医局図書室のガイドラインや教科書も利用でき、またUpToDateが院内で利用できるなど、自主学习やレポート・病歴要約作成の環境もあります。

病院自体は、旧高松市民病院から新築移転して数年のため院内はきれいで設備も整っていました。医局の雰囲気がよく、他科の先生同士でも気軽に症例の相談や情報交換をされていたことも印象的でした。オン・オフがはっきりしている先生も多く、ワークライフバランスを重視する先生も働きやすい病院だと感じました。給与面でも県内や近隣の病院の研修医と比較して良いので、生活に余裕もうまれます。



僕はたすきがけや地域研修などで様々な病院で研修をしましたが、高松市立みんなの病院は症例や患者数、勤務体制などを総合的に見てバランスのとれたいい研修先だと感じました。これから研修医となる学生の皆さんは、自身の将来を見据えていろいろな初期研修病院を検討されていると思いますが、是非高松市立みんなの病院も候補に入れてみてください。

研修医（協力型研修医2年目） 吉川 紘平

年 月 日

高松市立みんなの病院長 殿

高松市立みんなの病院臨床研修応募申込書

次のとおり貴院卒後臨床研修に応募します。

氏 名	(ふりがな)	本 籍	希望する診療科
		都道府県	1年次研修
生年月日	S・H 年 月 日生 (歳)	男 ・ 女	2年次研修
現住所	〒 電話番号: 携帯電話番号: e-mail:		
帰省先等の連絡先	〒 電話番号:		
学 歴 (高等学校) (卒業時より) (記入のこと)	学校学部学科名		修学期間
			年 月 ~ 年 月
			年 月 ~ 年 月
			年 月 ~ 年 月
医籍登録番号	第 号	医籍登録年月	年 月 日

研修履歴・職歴 (医籍登録後の履歴を漏れなく記入すること)

期 間	医 療 機 関 名 等
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	

年 月 日

高松市立みんなの病院長 殿

見学希望者 住所

氏名

病 院 見 学 依 頼 書

次のとおり病院見学を希望します。

記

ふりがな		性別
氏名		男・女
現住所	〒 - -	
連絡先	- - (自宅・携帯) e-mail:	
生年月日	昭和・平成 年 月 日生 (歳)	
大学名	大学 年 卒業(見込)年月 年 月	
出身地	都・道・府・県 区・市・郡	
見学希望日	第1希望 年 月 日 第2希望 年 月 日	
希望する診療科 見学の内容		
交通手段	公共交通機関(JR・高速バス)・自家用車・その他()	
その他 (質問など)		

※在学証明書又は学生証の写しを添付してください。また、見学当日に、原本の提示をお願いします。

高松市立みんなの病院 臨床研修プログラム 募集要項

- 応募資格 医師国家試験合格者又は合格見込みの者
- 募集人数 4名
- 選考方法 書類審査及び面接により臨床研修委員会で選考
- 選考時期 申込受付後に日程調整の上、応募者へ連絡します。
- 提出書類 下記の書類を一括して封筒に入れ、必ず『書留郵便』送付、又は、持参してください。(持参される場合は、平日にお願いします)
 - ・ 申込書(様式：9ページ)
 - ・ 履歴書
 - ・ 卒業見込証明書又は医師免許証(写)
 - ・ 健康診断書
- その他 研修医の採用は、全国マッチング協会を通して決定します。
- 宿 舎 借上宿舎(要相談)
- 院内保育所 利用可

研修医の処遇

- 身 分 会計年度任用職員
- 給 与 1年次 基本給/月 350,000円 2年次 基本給/月 380,000円
[手当] 時間外手当・宿日直手当等 当直回数 3~4回 / 月程度
- 学 会 費 出張旅費及び参加費等の支給
- 勤務時間 毎週8時30分~17時00分(37.5時間) 土日・祝祭日を除く。
- 有給休暇 有(労働法の規定による。)
- 社会保険 有(健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険)
- 被服貸与 有
- 研修修了の認定及び証書の交付
研修を終了し、臨床研修委員会で目標が達成されたと評価を得た者に対して臨床研修修了認定証を交付する。

書類提出先・問い合わせ先

高松市立みんなの病院

〒761-8538
香川県高松市仏生山町甲847番地1
高松市立みんなの病院事務局 総務課総務係
TEL 087-813-7171(代表) 内線2103
FAX 087-813-7141(代表)
E-mail byoinshomu@city.takamatsu.lg.jp



ママ・パパに
なっても大丈夫!
院内保育所
設置



高松市立みんなの病院

〒761-8538 香川県高松市仏生山町甲847番地1
高松市立みんなの病院事務局 総務課総務係
TEL 087-813-7171(代表) FAX 087-813-7141(代表)
E-mail byoinshomu@city.takamatsu.lg.jp
<http://www.takamatsu-municipal-hospital.jp/>

